

幹事会・運営委員会報告

◇第Ⅱ期幹事会（第3回）

庶務幹事 前田裕宣、坂井信彦

日時 平成 7年 8月10日（木） 午後3時 ～ 午後5時
場所 兵庫県立先端科学技術支援センター セミナールーム（大）
出席者 菊田、坂井、塩谷、下村、菅、虎谷、難波、前田、松井、圓山、渡辺（巖）
植木（共同チーム）、尾野（財団）、鈴木（財団）、牧田（財団）、香川
（財団事務）佐久間（事務局）。

〔報告事項〕

当幹事会は翌日開催予定の第Ⅲ期運営委員会（第2回）に先立ち開かれた。平成7年度SPring-8利用者懇談会の全般的な活動方針について会長から、また現状について各幹事から報告された。内容のうち翌日開催の運営委員会と重複する部分は同議事録に詳細を記載し、以下の幹事会報告には主要項目のみを記載する。

〈会長報告〉：SPring-8利用者懇談会のこれからの活動計画。

〈幹事報告〉

庶務：坂井

- ・会員数の動向。
- ・「学術的会合の主催等に関する規程」の一部字句変更の提案。
- ・会員名簿改訂の今後の作業日程。

会計：虎谷

- ・平成6年度決算報告（財団委託金）および平成7年度予算の提案。
- ・平成7年度SPring-8利用者懇談会サブグループ開催状況。
- ・会費預金口座振替手続きの現況。

利用：下村

- ・サブグループ登録者の再確認作業。

利用：松井

- ・SPring-8利用者懇談会拡大世話人会の報告。

行事：坂井（代理）

- ・第9回放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムのプログラム。

編集：難波

- ・「光彩」の発行予定。

[審議事項]

1. 「学術的会合の主催等に関する規程」の提出書類の書式番号を削除する事（庶務幹事提案）を審議のうえ承認。
2. 平成7年度予算案（会計幹事提案）を審議のうえ承認。

[その他]

幹事会直後に行われる財団との懇談会（先端科学技術支援センター交流サロン）での話題項目について意見交換をおこなった。

◇第Ⅱ期運営委員会（第2回）

庶務幹事 前田裕宣 坂井信彦

日時 平成 7年 8月11日（金） 午前10時 ～ 12時
場所 兵庫県立先端科学技術支援センター セミナールーム（大）
出席者 岩見、尾嶋、菊田、坂井、佐藤、塩谷、下村、菅、大門、寺内、虎谷、難波、前田、松井、圓山、安岡、渡辺（巖）、渡辺（誠）、植木（共同チーム）、鈴木（財団）、牧田（財団）、佐久間（事務局）

[報告事項]

〈会長報告〉：菊田会長より活動計画について報告があった。

1. 原研・理研共同チームおよび（財）高輝度光科学研究センターとの交流を基調として共同チーム、研究センターからの受託業務を遂行する。そのため従来通り利用に関する件で随時協議を行う。
2. 高輝度光科学研究センターの研究所としての整備に対して利用者の立場からの要望を伝える。大学・研究所および企業関係研究者の共同利用の円滑化を図るためビームの使用料、旅費・研究経費・出張形態および専用ビームライン建設などに関して関係省庁へも要望する。
3. 共同利用ビームライン設置にはつぎのように対応する。
 - (1) 要求が完結していない各サブグループ（以下SGと略記）はビームライン計画を提案する。
 - (2) 利用者の全体的な建設協力体制を確立する。
 - (3) 実験ステーション建設へ各SGが協力する。
 - (4) 平成9年以降の計画に共同利用ビームラインの早期整備を働きかける。

4. 30m長直線部の利用の早期実現をめざし活動する。
5. SG組織をさらに強化する。そのためSGへの会員の加入促進を図るとともに、既存のSGの拡充改組・分離統合を促す。一方新SGの立ち上げを促す。
6. 「放射光科学合同シンポジウム」（平成8年1月9日～11日、岡崎）へ参加する。
7. 広報誌「光彩」の発行を継続する。既に7号は発行されており、続いて本年度は8号、9号の発行を予定している。
8. 会員名簿を改訂し年度内に発行する。
9. 当懇談会への入会勧誘をいっそう進める。

〈幹事報告〉

庶務：坂井

- ・現会員数は918名である。新規加入と退会者とがあり、全体としてはそれ程変化していない。なお前回の運営委員会以後、新加入の申し込みが14名があった（承認事項として申請書コピーを回覧）。
- ・「学術的会合の主催等に関する規程」の提出書類の様式番号を規程文から削除する事を幹事会で決定した。
- ・会員名簿改訂の作業を進めている。11月に会員の手元に配布する予定である。

会計：虎谷

- ・平成7年度予算を報告した。なお前回一部承認済みの平成6年度決算を再度審議事項とした。
- ・平成7年度になって各SG会合の開催は盛んである。本年度は多くのSGが建設モードになったためである。
- ・会費預金口座振替は8月9日現在で会員数の約1/3に当たる322名の方が振込手続きを完了した。

利用：下村

- ・会員のSG登録の再確認および新規登録を書類送返で行っている。現在52名から返答が来ている。

利用：松井

- ・本年度第1回目の拡大世話人会が7月18日東大総合図書館3階会議室にて下記プログラムで開催された。共同利用ビームライン10本の計画決定を中心テーマとして、各SG間の情報および意見交換がなされた。

プログラム

1. 会長挨拶.
2. SPring-8の現状.
3. ビームライン建設の現状.
4. ビームライン建設の進め方について.
5. ビームライン建設について討論会.

利用：渡辺（巖）

- ・平成7年度SPring-8利用計画調査委員会報告書に関して8月4日に共同チームと打ち合わせを行った。今年度は、BLの仕様（実験ステーションより上流部分）は共同チームの担当とし、各SGにそれぞれアサインされたBLごとに、そこで計画している実験内容やステーションの仕様などについて報告をお願いする。

また、理研・原研専用ビームラインで実験を行うSGについては、それらのBLの仕様の後に計画を書き、その他のSGについてはアイデア等のその後の進展について、報告をお願いする。

序論および全体の編集作業は利用幹事の担当とする。報告書は英文とし、フォーマットおよび締切り期日（現在1月末を考えている）は追って通知する。

行事：坂井（代理）

- ・第9回放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムは、岡崎（分子研・竜美丘会館）で開かれ、今年度のSPring-8利用者懇談会総会は、最終日平成8年1月11日午後1時より開催される予定である。

編集：難波

- ・広報誌「光彩」の発行は順調である。「光彩」7号は7月に発送完了した。次号8号は11月に、9号を平成8年3月に発行する予定である。「光彩」は平成8年度から季刊誌として年4回発行する予定である。

[審議事項]

1. 新会員の承認（庶務幹事より提起）

第1回運営委員会以降新規加入申し込みが14名あり、審議の結果全員の加入を承認した。（審議に先立ち申請された会員登録書コピーを回覧）。

2. 平成6年度決算及び平成7年度予算報告（会計幹事より提起）

報告の通り承認した。

[その他]

1. 30メートル長直線部の利用に関する国際ワークショップを平成8年度4月中旬に開催の予定である[共同チーム：植木]
2. 1997年度8月～9月上旬に「97SRI」を姫路で開催予定である[共同チーム：植木]